久留米工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	専攻科インターンシップ

科目基礎情報

科目番号	6C25	科目区分	専門 / 選択
授業形態	実習	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	物質工学専攻（生物応用化学コース）	対象学年	専1
開設期	通年	週時間数	1
教科書/教材	実習内容に関連する文献、資料など		
担当教員	笈木 宏和,川上 雄士,黒飛 敬,小袋 由貴		

到達目標

1．技術が社会に及ぼす影響・効果、技術者が社会に対して負っている責任を理解できる。
2．実験などを計画・遂行し、その結果を解析し、工学的に考察することができる。
3．該当分野の専門技術に関する知識を得て、それらを問題解決に応用することができる。
4．日本語による論理的な記述を行ったり、口頭発表や討議などを行うことができる。
5．自主的、継続的に学習することができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	技術が社会に及ぼす影響・効果、技術者が社会に対して負っている責任を理解できる。	技術が社会に及ぼす影響・効果、技術者が社会に対して負っている責任をある程度理解できる。	技術が社会に及ぼす影響・効果、技術者が社会に対して負っている責任を理解できない。
評価項目2	実験などを計画・遂行し、その結果を解析し、工学的に考察することができる。	実験などを計画・遂行し、その結果を解析し、工学的に考察することがある程度できる。	実験などを計画・遂行し、その結果を解析し、工学的に考察することができない。
評価項目3	該当分野の専門技術に関する知識を得て、それらを問題解決に応用することができる。	該当分野の専門技術に関する知識を得て、それらを問題解決に応用することがある程度できる。	該当分野の専門技術に関する知識を得て、それらを問題解決に応用することができない。
評価項目4	日本語による論理的な記述を行ったり、口頭発表や討議などを行うことができる。	日本語による論理的な記述を行ったり、口頭発表や討議などを行うことがある程度できる。	日本語による論理的な記述を行ったり、口頭発表や討議などを行うことができない。
評価項目5	自主的、継続的に学習することができる。	自主的、継続的に学習することがある程度できる。	自主的、継続的に学習することができない。

学科の到達目標項目との関係

JABEE G

教育方法等

概要	本学科と専攻科で学んだ工学的知識や技術が、実践的にどの程度応用できるかを、企業等におけるインターンシップで経験し、実践的技術者としての資質を高めることを目的とする。各学生は企業からの評価を受け、その結果を参考にして、学生の自己啓発および専攻科の教育改善を促す。 実務経験のある教員による授業科目：この科目は、実務を行っている企業の担当者が、その経験を活かして行う授業である。
授業の進め方・方法	提示したインターンシップ受け入れ機関の中から、学生の希望と諸条件を考慮して、配属先の引き受け機関を決定する。実施時期は休業期間中の3週間以上を原則とする。企業や研究機関などにおいて実際の業務に従事する。担当教員は、学生の状況を把握するとともに、実施機関の引き受け責任者と連絡を密にする。学生は、インターンシップ終了後に報告書及び実施機関の引き受け責任者が記入・封印した評定書を提出する。
注意点	複数のインターンシップ関連教員により次の割合で成績評価を行う。報告書20%、実施機関の評定書40%、報告会40%として総合的に成績評価を行う。具体的な評価項目、配点および評価基準については別途定める。 評価基準：60点以上を合格とする。 再試験は行わない。 令和3年度は開講しない　個別の実施については、担当教員に事前に相談すること。

授業の属性・履修上の区分

☑ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	☑ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	企業での業務による	
		2週	企業での業務による	
		3週	企業での業務による	
		4週	企業での業務による	
		5週	企業での業務による	
		6週	企業での業務による	
		7週	企業での業務による	
		8週	企業での業務による	
	2ndQ	9週	企業での業務による	
		10週	企業での業務による	
		11週	企業での業務による	
		12週	企業での業務による	
		13週	企業での業務による	
		14週	企業での業務による	
		15週	企業での業務による	
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		

		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。	5	前1
				公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	5	前1

評価割合

	報告書	実施機関の評定書	報告会	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	20	40	40	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	20	40	40	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0